

日本共産党

武藤美津江

●就学援助制度

問 今まで実費支給だった就学援助費の校外学習費、修学旅行費に限度額が設けられた。限度額を超えれば、自己負担が生じる。実費支給に戻すべきである。

答 小中学校における修学旅行費と林間学校の費用が年々上昇傾向にあり、学校間でその費用に差が生じてきていたことから、上限額を設定した。

●こどもルーム

問 こどもルームを今後も直営で継続すべきである。

答 現時点での民営化は具体的に

政和会

上橋 泉

●教育委員会制度改正について

問 3月議会で教育長は、改正前の教育委員会制度が教育の政治的中立を守る最適な制度であると答弁したが、戦後の日本社会で最も政治的に非中立な世界はマスコミと教育だった。私が育った昭和30年代、40年代前半、日本の学校教育は子供たちを通じて日本を社会主義化することを考えていた。教育長は前述のように答弁するが、教育長にとって、教育の中立とは日本を社会主義化することか。

答 昭和30年代に議員が述べたような教育の一部であったことは認識している。教育委員会が形骸化している、危機管理がでないという面を大きくとって、制度を変えなくてはならないと

見通しはないが、保育需要も一定の増加傾向にある。今後の展開についてはさまざまな事業主体との連携を視野に入れながら検討を進めてまいりたい。

●介護保険制度

問 介護保険から要支援1、2を外すということは、今までのサービスを受けられないことになるか。

答 サービスを受けられなくなることはない。準備に万全を期してまいりたい。

●高柳駅改善

問 東武の複線化の計画の進捗状況に關係なく橋上駅舎化の整備は進めるべきである。

答 自由通路整備及び橋上駅舎化のスケジュールについては、複線化より先行して進める。橋上駅舎化は、ホームと線路の移

いような点については、それほどの危機感を持っていない。

●市場移転中止による損害賠償訴訟の和解案について

問 被告柏市の準備書面によると、本市の事務方は原告となつた地権者に対し、移転交渉の最初の段階で事業費は現市場敷地の売却費と国の交付金の合計額を限度とするという基本原則を説明し、そのためには新市場の用地を市街化調整区域のままで購入する必要があると伝えた。ところが原告は土地区画整理による地価の上昇の利益を求めて素地のままでの売却を拒否した。用地を市街化調整区域の価格で取得できなければ市場移転計画が中止になる可能性があることを原告は当初から了解、予見していた。事務方が原告の要求に抵抗を重ねてきたにもかかわらず、市サイドで誰が原告の要求をほぼそのままの形で

設も含まれるので、着手してから4力年程度はかかる。

●西口の整備ととも、東口の整備を進めるべきである。

答 駅前の交通円滑化や駅周辺の活性化のため、駅前広場の整備が必要であると認識している。

平野 光一

●安倍政権の暴走政治と市政

問 海外で戦争する国づくり、消費税増税、生活保護法改悪、医療介護総合法案、労働法制の改悪、原発再稼働など、安倍政権の政治に保守の立場の首長からも厳しい批判が上がっているが、秋山市長はこれらに全て賛成なのか。

答 時代に合わせて何事も柔軟に変化すべきで、9条も例外ではない。集団的自衛権行使で

むように誘導したのか。前市長以外には考えられない。住民監査請求がなされれば前市長は和解金の補填を免れないと思うが見解を求める。

●住民監査請求の対象は違法または不当な公金の支出等で、住民訴訟の前提となるものだ。現在のところ住民監査請求が提出されていないので具体的に答えることはできないが、提出されれば判例等を参考に判断する。



柏市公設総合地方卸売市場

きるようにすることは国際社会で必要なことである。

●教育委員会制度の改悪

問 市町村の首長が教育の大綱を策定し、首長が任命する教育長を教育委員会のトップに据える法改悪が行われた。これは教育の中立性、継続性、安定性を損ない、教育行政と学校現場に混乱とゆがみをもたらす。

答 法改正でそれらが直ちに損なわれることはない。首長の暴走を恐れるという思いもない。

●市場移転中止の損害賠償請求

問 批判、不安に耳をかさず進めようとした無謀な移転計画が破綻したというのが、問題の本質。その責任は本多、秋山両市長と執行部にある。

答 市長に就任した際には市場をめぐる環境などが大きく変化しており民営方式を検討することにしたが、大震災、原発事故で移転は困難となり断念した。

●市は裁判で自分たちに責任はないと主張した。提出されている和解の議案は、市に責任は

無所属

内田博紀

●市長の政治姿勢について

問 義務教育未就学者の学習権の保障に当たっては公立夜間中学の開設を一つの選択肢とし、現任期中に何らかの方向性を示す意向でいるか。

答 市川市のような公立夜間中学という方法も選択肢の一つであるとの認識について現在も変わりはない。現在の任期中に何らかの見解を示すことができるよう、引き続き努力してまいりたいと考えている。

ないが2億2000万円の支出を承認してくれということか。

●市政運営の中ではいろいろな課題が生じる。

日下 みや子

問 市民の「足の便」の確保

問 市役所へのアクセス手段を求め声にどう応えるか。

答 市役所へのアクセス手段を求めている。バス事業者へ要請を継続し、確保に努める。

●公共交通政策にかける本市

問 経費は野田市、流山市、我孫子市と比べて大変少ない。布施新町にはあびバスが停留所をつくり運行するそうだ。市は市民の「足の確保」のため前向きな議論をしているのか。

答 民間事業者との適正な役割分担のもと誰もが移動しやすい環境づくりに取り組む。全市民のニーズ、交通状況、公共交通を担っている事業者の影響など総合的な判断が必要である。

●柏駅東口の買い物が駐輪場がなくて困っている。商業施設には附置義務がある。D街区再開発ビルなどはどうなるのか。

答 柏駅東口D街区再開発事業の商業施設の附置義務駐輪場に

●第五次総合計画の策定について

問 これまでと同様な計画期間の見直しをすべきと考えるがどうか。

答 次期総合計画では現計画期間を5年ほど短縮し、10年とする方向で考えている。

問 放射能対策が計画に位置づけられるよう協議してほしいがどうか。

答 廃棄物政策や地球温暖化対策など環境部が所管する他の重

約400台分の計画がある。また、今月末にさう第二駐車場の一部が270台分の駐輪場として開設される予定である。

●永楽台と増尾の水害対策

問 永楽台一丁目や増尾四丁目の水路周辺地域の根本的な水害対策と計画を示してほしい。

答 永楽台地域は日立台グラウンドまでの雨水幹線を上流に延ばし、増尾四丁目は日立藤心線の四丁目曲がるころの雨水幹線を整備することである。できるだけ早い段階で計画を示したいが、ある程度財源の担保を持つ段階で示したい。

●市立柏病院建てかえ

問 建てかえに当たっては、まず利用者や地域の声を最優先で聞くべきではなかったか。現地建てかえを明言してほしい。

答 候補地選定の際、説明が必要と考えていた。市民の声に耳を傾け、慎重に判断したい。

●布施新町の高齢化率は平均47.5%。在宅医療における市立病院の役割をどう考えるか。

答 急な容態変化の際、速やかに入院できるようなバックアップ機能の役割が重要と考える。

問 東大、がんセンター、県、

●要施策と同様、総合計画での位置づけについても必要な協議をしてまいりたい。

問 動物愛護・管理条例について動物愛護ふれあいセンターの機能と殺処分ゼロを目標とする旨の理念を明文化する必要があるのか。

答 動物を命あるものとして重く受けとめ、殺処分ゼロを目標に、できる限り生きる機会を多く与えられる運営に努める。

三井不動産などと「ライフサイエンス研究会」を開いている。市立病院移転を前提にしているという声もあるがどうか。

●柏の葉地域において、がんゲノムに特化した開発拠点、企業立地が考えられないか検討している。

問 柏の葉キャンパス駅駐輪場

問 キャンパス駅駐輪場は料金が50%も値上げされ、駅に近い場所は全て一時利用になり、定期利用のキャンセル待ちが生じた。なぜ民営化したのか。

答 民間でできることは民間に委ねるといふ方針のもとサービスや利便性向上、経費削減を目的に民営化した。料金はT×沿線の自治体と比較して高くない。

●民営化でサービスは悪くない。定期利用者を優先し、利用者アンケートの実施を。

問 一時利用は不定期なので駅直近のほうが便利。キャンパス駅では一時利用の一部を定期利用に拡大している。今後を見きわめ、まちづくり公社を指導し、アンケートについては協議する。

一会議録『暫定版』の公開スタート
 質疑並びに一般質問の詳細は、会議録暫定版で!!

平成26年6月定例会の会議録から校正中の原稿を「暫定版」としてホームページで公開しています。実際の会議録と一部異なる場合がありますので御了承ください。過去の本会議や委員会の会議録もホームページでごらんいただけます (<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>)。